

「深い学び」を具現する授業デザイン例 社会（中）

学習指導要領における領域・内容

中学校 〔第1学年〕〔地理的分野〕

A（1）ア（イ） 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること。

指導主事による5分間授業動画
<https://youtu.be/7qHnDLGdGAM>



本時のねらい

太陽に見立てた懐中電灯と地球儀を用いて標準時について調べる活動を通して、時差が生じる理由を説明することができる。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点		
<p>僕たちが住んでいる日本はお昼なのに、ロンドンはまだ暗いね。</p> <p>どうして国によって時刻が違うのかな？</p> <p>ハワイは時刻だけでなく日付も違う！</p> <p>国の位置が違うからかな。</p> <p>生活が混乱しちゃうからかな。</p> <p>地球儀を回してみよう！右回り？左回り？</p> <p>太陽の光が当たっている所が日中ね。</p> <p>太陽の光が当たっていないところが夜だよ。</p> <p>確か地球は1日に1回転しているんだよね。</p> <p>お昼のところもあれば夜のところもあるんだね。</p> <p>小学校の理科の授業の「月の見え方」の実験と似ているね。</p> <p>お昼や夜に合った時刻にする必要があるね！</p> <p>13時なのに4時だったら時間の感覚がおかしくなっちゃう！国ごとに時刻が決まってないと不便だよ！</p> <p>360度÷24時間=15度だから、経度が15度違うと、時差が1時間になるんだ！ロンドンとの時差は9時間で、経度で135度違うから…</p> <p>視点①</p>	<p>ライブカメラで現在の世界の様子を見てみましょう。何か疑問に思うことはありませんか？</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="815 819 948 1043">イギリス ロンドン 2/2 4:00</td> <td data-bbox="1002 819 1134 1043">日本 福島 2/2 13:00</td> <td data-bbox="1193 819 1326 1043">アメリカ ハワイ 2/1 18:00</td> </tr> </table> <p>国によって時刻が違うのはどうしてでしょうか？予想してみましょう。</p> <p>では、懐中電灯を太陽に見立てて、懐中電灯と地球儀を使ってその理由を説明してみましょう。</p> <p>視点N</p> <p>もし今から世界中がロンドンと同じ時刻になったらどうですか？</p> <p>国ごとに時刻が決まっているから、時刻の違いが生じるのですね。その違いを「時差」と言います。</p> <p>地球は24時間で360度回転することから、「時差」を計算で求める方法を考えましょう。ロンドンやハワイは何度の経線上にあるか、地図帳で位置を確かめましょう。</p>	イギリス ロンドン 2/2 4:00	日本 福島 2/2 13:00	アメリカ ハワイ 2/1 18:00
イギリス ロンドン 2/2 4:00	日本 福島 2/2 13:00	アメリカ ハワイ 2/1 18:00		

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

- 標準時や時差の必要性を生徒自身に気付かせるための体験的な活動や問いによって、それぞれの国で時刻が異なる理由について実感を持った理解につなげたい。その上で「時差」という語句を伝えることで、時差についての理解を深めることが期待できる。（視点N→視点①）